

市議会ホームページのご案内

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや本会議の
会議録、インターネット中継
などがご覧いただけます。



対象となる方へ、1～4回目接種を実施しています

ワクチン接種の効果は、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示されています。対象の方は、早めの接種をご検討ください。

最新の情報はこちら
(市ホームページ)▶



- 予約方法**
- ①インターネット(予約専用サイト)
スマートフォンはこちら▶
 - ②コロナワクチンコールセンター
☎0120-489-199
小児専用コールセンター
☎0120-489-500
 - ③区役所相談窓口
■受付日時：月～金曜日
(祝・休日は除く)の9～17時
 - ④市民センター予約専用窓口
■受付日時：月～金曜日
(祝・休館日は除く)の9～17時
- 受付時間：9～17時
※聴覚障害のある人は ☎383-0820

▶ワクチン接種には本人の同意が必要です。

ワクチン接種はあくまで本人の意思に基づき、同意のもとで行うものです。接種の強制や、接種を受けていない人への差別などをする事のないようお願いいたします。

6月定例会が開かれました

6月定例会が令和4年6月10日から6月20日まで11日間の会期で開かれました。

市長から17件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は17件で、うち6件を可決しました。

1面	本会議での会派質疑・一般質問と答弁 など
2面	本会議での一般質問と答弁、お知らせ
3面	本会議での一般質問と答弁、請願・陳情の審議結果
4面	本会議での一般質疑・一般質問と答弁、議案に対する各会派の賛否一覧 など

本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。

詳細な会議録は、9月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。

また、市議会のホームページには8月下旬頃に会議録(速報版)を掲載します。

なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、9月下旬からとなります。

議員 同廃止に向けた手続きの中で出た市民からの声に対する本市の受け止めと対応、さよならイベント等の企画跡地活用への関係者意見の反映のさせ方等について見解を伺う。

市長 同廃止に当たり、「浅生スポーツセンターのプールは子どもが自由に遊べない」などの声があったため改善が必要と判断し、夏休み中の子どもデーの設定等を行った。廃止に伴うイベントは、現地で



公明党 岡本 義之
岩ヶ鼻市民プールの廃止について
30分

6月10日 会派質疑



本会議では次の32人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。各日付の下にあるQRコードから、質疑・質問と答弁の動画をご覧いただけます。

議員 同事業は、老朽化した移転併置し建て替え、運動場や体育館等を共用し、障害者スポーツセンターのプールを利用するとしているが、実施設計に当たり、この2校併置の問題を解消すべき。

教育長 同計画の策定に当たり保護者や教職員の意見も踏まえ校舎の配置等の検討を重ね、2校併置により学校間交流を通じ相互に学ぶ意欲を高め合うなどの効果が考えられており、近隣の温水プールの利用としたのは水の



日本共産党 藤沢 加代
小倉北特別支援学校・北九州中央高等学園整備事業について
30分

市長 本市は、国の総合緊急対策に基づき、市立学校等の給食費の補助や、全世帯を対象にした公共施設の入場料無料化等により幅広い世帯の家計の負担を減らし、市内事業者の経営体質強化に向けたDX・デジタル化の推進補助や省エネ設備導入補助等により足腰の強い地域経済の構築を目指している。まずはこれらを着実に進め、市民や事業者に寄り添った支援に努めていく。

の開催は難しいが、何ができるか検討する。跡地活用については、地元関係者の意見を聞き、公共施設マネジメント実行計画に基づいて検討していきたい。

議員 物価急騰は市民のくらしや事業者の営業などに影響を及ぼしている。市民全体に影響を及ぼしている。国の臨時交付金に市の一般財源を加えるなどの財源対策を取り、全世帯を視野に幅広く効果が及ぶ即効性のある対策を求める。

市長 本市は、国の総合緊急対策に基づき、市立学校等の給食費の補助や、全世帯を対象にした公共施設の入場料無料化等により幅広い世帯の家計の負担を減らし、市内事業者の経営体質強化に向けたDX・デジタル化の推進補助や省エネ設備導入補助等により足腰の強い地域経済の構築を目指している。まずはこれらを着実に進め、市民や事業者に寄り添った支援に努めていく。



日本共産党 荒川 徹
物価高から生活を守る対策について
30分

議員 同構想の国の公募で本市が指定されなかったのは残念だが、環境分野等での本市の強みを生かした未来都市づくりを進めることで、関連企業の進出も期待される。企業の進出を促すような取組について尋ねる。

市長 国はスーパーシティの提案の熟度が高まった自治体から順次指定を検討する考えのため、同構想で本市が提案し



自民党・無所属の会 スーパーシティ構想について
田中 常郎
30分

新もしていききたいと考えている。今後も、地元農家の意見を聞きつつ、国等の補助制度も取り入れ適正な維持管理や整備を進めていく。

議員 本市には農業用施設が多くあるが、老朽化等により適切な維持管理が負担となっており、同水路には水を利用する農地の規模や形態等、地域の実情に合わせた機能維持のための対応を行っており、生産性向上を図るほ場整備に合わせた整備・更新もしていききたいと考えている。

産業経済局長 本市には農業用施設が多くあるが、老朽化等により適切な維持管理が負担となっており、同水路には水を利用する農地の規模や形態等、地域の実情に合わせた機能維持のための対応を行っており、生産性向上を図るほ場整備に合わせた整備・更新もしていききたいと考えている。

温等の影響を受けやすい児童生徒に配慮しやすいなどの理由による。今後も児童生徒が安心して学べる学校の整備など更なる特別支援教育の充実に向け取組んでいく。

議員 長引くコロナ禍等で農業にも悪影響が出ている。市民の食料確保に向け本市の農業環境を抜本的に見直し、強じん豊かな農業を多面的に構築すべきだが、農業用水路等の農業施設に関する本市の認識を尋ねる。

議員 本市には農業用施設が多くあるが、老朽化等により適切な維持管理が負担となっており、同水路には水を利用する農地の規模や形態等、地域の実情に合わせた機能維持のための対応を行っており、生産性向上を図るほ場整備に合わせた整備・更新もしていききたいと考えている。



自民の会 西田 一
本市の農業環境の充実について
60分

6月10日 一般質問



た東田地区での先端技術の実証・実装プロジェクトのうち可能なものから取組み、情報発信を強化して新規事業者等呼び込みたい。実証等を行う事業者へは必要な規制改革の推進等の支援を行い、まずは同地区で事業者と連携し持続可能なまちを目指していきたい。

議員 4月19日に発生した同地区での火災によるがれきの撤去に向けたクラウドファンディングでは、市民をはじめ全国から寄付が集まった。これから復興に込み、再整備事業を行う同市場への市長の思いを尋ねる。

市長 本市は各部署が連携し被災者支援に努めており、事業再開後押しのため商店街空き店舗活用事業に特例措置を設けたいと考えている。同地区の復興は寄せられる多くの支援からも感じられるとおり市民の願いであるため、今後も地元の声を聞きながら一日も早い復興に向けた支援に努め、将来にわたり市民に愛され魅力あふれる市場への発展に向け再整備にも鋭意取組んでいく。



公明党 富士川 厚子
目黒市場について
30分



議員 日本共産党 山内 涼成
タフシー利用券の発行について
60分

本市が行う乗り合いタクシーはほぼ1人で1台の利用となっており乗客のニーズになじんでいないため、タクシーを地域公共交通と位置づけ、一定の年齢のバス定期購入者にタクシー利用券を発行してはどうか。本市が取組む相乗りタクシーを含めたおでかけ交通は、路線バス同様、目的地や時間を定めることにより低料金で利用できる。一方、一般のタクシーは個別輸送で好きな時間に目的地まで行くことができる。こうした求められるサービスレベルの異なる交通手段がそれぞれの役割を果たすことで、高齢者だけでなくあらゆる世代のニーズにきめ細かく対応できると考えている。

6月13日 一般質問



議員 ハートフル 北九州 障害者スポーツセンター・アレアスのプールについて
60分

同プールの排煙窓部品が落下する事故から半年が過ぎ、ようやく着手した補修工事は8月上旬までに完了する予定だが、その間、障害者その他の市営温水プールを利用できるような便宜を図ることができないか。

保健福祉 同プールは現在、改修社局長 工事に入っており8月上旬頃の再開を目指している。これまで同プールを長期に休止する際には、他の温水プールの所管部局と協議し、障害者専用レーン確保などの対応を行っている。同プールの利用者には不便をおかけしているが、一刻も早く再開し、

障害のある方が安心して利用でき、健康・体力づくりなどのニーズに対応できるよう努めていく。



議員 自民党・無所属の会 小倉南区東谷地区の生活交通について
30分

公共交通は地域の生活を運行するバス路線、東谷徳力線の維持について西鉄バス北九州との協議を推進しつつ、仮に路線廃止となった場合も、おでかけ交通等の代替手段を確保すべき。

建設都 市局長 昨年10月に運行開始した同路線は4月までの利用人数が採算ラインを大幅に下回っており、廃止も視野に入れざるを得ないと聞いている。その場合、公共交通空白地域も生じるため、おでかけ交通の導入について地元と協議を開始したが、同交通の継続にも多くの利用による採算性の確保が必要となるため、引き続き地元との協議を進め、引き続き生活交通の確保に努めていく。

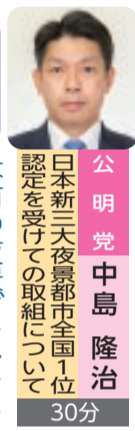


議員 自民の会 戸町 武弘
交流人口の増加について
30分

八幡東区東田にシアウトレット北九州が開業した。本市の交流人口増加に向けてスペースワールド駅への土日休日の恒常的な特急停車と、東田地区にふさわしい駅名に変えることをJR九州に要請してはどうか。

建設都 市局長 本市は、同開業に合わせ特急等の停車をイオンモールと共にJR九州へ要請してきたが、7・8月の土日祝日とお盆期間の特急等の停車が決定しており、引き続き特急の恒常的な停車及び本数増加を同社に要請していきたい。駅名変更は、数億円かかる駅看板類の変更等の費用

対効果が大き課題となるが、市民の機運の高まりが何よりも重要であるため、慎重に見極めたい。



議員 公明党 中島 隆治
日本新三天景都市全国1位認定を受けての取組について
30分

本市の夜景ブランドを活かした今後の事業展開と、代表的な夜景スポットの皿倉山を、トイレ整備や本格的グルメを楽しめる空間づくり等により「おもてなしの心」が伝わるよう磨き上げることについて尋ねる。

市長等 本市は同認定を受け、夜景動画作成や大手旅行雑誌でのPR、市民参加型イベントの集中的な実施等を検討している。皿倉山は、快適なトイレやワンランク上のグルメを提供するレストラン等について関係局と重点的に協議していきたいと考えており、環境等に配慮しつつ磨き上げに取組んでいく。今後も国内外の観光客誘致に力を注ぎ更なる街のにぎわいにつなげていきたい。

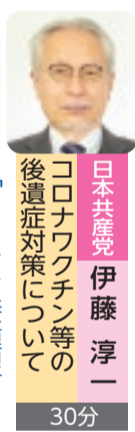


議員 ハートフル 北九州 アライグマ対策について
60分

アライグマが増え、農家や民家に被害が出ている。姿はかわいいが凶暴な個体もあり、病気を持っている可能性も高い特定外来生物であるため、近づいたり餌を与えたりしないような啓発と対策について尋ねる。

産業経 済局長 本市では、今後もアライグマの生息数増加の可能性が高いことから早急な捕獲強化が必要のため、今年度、捕獲わなを購入し、農業被害の多い若松区で農家と協力した設置や市民への無料貸出等に着手した。また、更なる繁殖も懸念されるため「エサやりはしない」などのチラシを

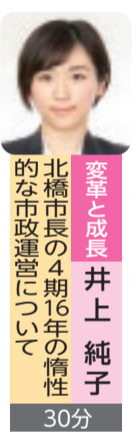
地域へ配布するなどしていきたい。今後、生息分布等の情報収集も行い被害対策に努めていく。



議員 日本共産党 伊藤 淳一
コロナワクチン等の後遺症対策について
30分

「ワクチン接種翌日に急病になった」「接種日の夜に持病が悪化し死亡した」などを経験した家族は、同ワクチンへの不信任が増幅されている。コロナ感染後の後遺症対策を含め、本市の取組について尋ねる。

保健福祉 社局長 本市では、同接種の不安等に係る相談を市コールセンター等で受け付け、副反応に係る専門的な相談は県の専用ダイヤルを案内し、後遺症については、市医師会と作成した協力医療機関リストをホームページに掲載し、相談ナビダイヤルでも情報提供している。今後も、後遺症等に関する最新の情報収集に努め、ワクチンの有効性等を様々な媒体により丁寧に情報発信していく。



議員 変革と成長 井上 純子
北橋市長の4期16年の情性的な市政運営について
30分

本市の衰退や人口減少を招いた原因は、市長による全施策を計画的に進めるための基本計画の放置に加え、未来に向けたビジョンやプランの対外的な広報の不足によるものと考え、市長の見解を尋ねる。

市長 本市の基本計画「元氣発進！北九州」プランは、就任後に各界の有識者代表と公開の場で議論を尽くし議会の承認を得て定め、毎年の行政評価等によりマネジメントしてきた。対外的には、直接対話の機会を重視し、定例会見やタウンミーティング等を行っている。本市は、洋上

風力発電の初の拠点化など素晴らしい可能性が出現しており、将来力強く発展していく街である。



議員 日本維新の会 有田 絵里
子どものマスク着用の見直しについて
60分

子どものマスク着用は、熱中症リスクや相手の表情の読みづらさによる言語習得等の発達への影響が懸念されるため、学校等での同着用に関する適切な指導や、給食時の黙食を見直すことについて見解を尋ねる。

教育長等 本市は、同着用に関する本年5月の国からの通知を受け、学校や保育所、幼稚園等に対し同通知を周知するとともに、国が示す具体例をもとにマスク着脱について教員が明確な指示を行うよう徹底するなどしている。黙食の撤廃については、子どもがオミクロン株感染割合が高いことなどもあるため、慎重に考えたい。今後も、国の動向を注視し、適切な着用についていきたい。

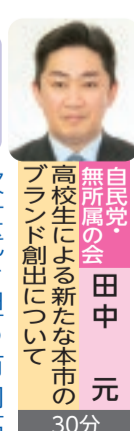


議員 ハートフル 北九州 大久保 無我
通学路の安全対策の進捗状況について
30分

過去に通学路で起きた様々な事故の教訓を忘れないよう、通学路の民地にあるブロック塀の危険度調査やグリーンベルト等の設置など、今一度、通学路の安全確保のために徹底した安全対策を施すべき。

市長等 本市は平成28年の熊本路沿いの全ブロック塀を調査し、危険な塀の所有者への毎年の個別指導、塀の除却工事の一部助成等を行っている。また、通学路交通安

全プログラムに基づき警察等と実施した合同点検で抽出された危険箇所へのグリーンベルト設置等に速やかに着手しており、今後も、地域や警察等と協力し通学路の安全対策にしっかりと取り組んでいく。



議員 自民党・無所属の会 田中 元
高校生による新たな本市のブランド創出について
30分

次世代を担う市内高校生に対し本市の魅力等に関するアンケート調査を実施し、同調査で把握した高校生たちが思い描く本市の魅力や強みを、若い世代に対して積極的に情報発信すべき。

市長 本市は、若者等の定着により社会動態をプラスにすることを基本方針に地方創生に取組んでいるが、高校生への同調査はニーズ等が把握でき、高校生自らが本市の魅力を再発見するきっかけになる上、調査結果を参考に本市の情報発信することでシビックプライドの醸成や若い世代の市内への定着につながることを期待できるため、今後、議会の意見も伺い具体的に検討する。

お知らせ

視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。
【問い合わせ】 市議会事務局政策調査課
☎582-2632 FAX 582-2685
聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される場合には、要約筆記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。
【問い合わせ】 市議会事務局総務課
☎582-2621 FAX 582-2685



日本共産党 出口 成信
市場・商店街の災害復興について
30分

議員 日過市場火災は改めて、がれき撤去が被災者の営業再開の力だと浮き彫りにした。本市の歴史と文化を担って発展してきた市場・商店街の「灯」を消してはならず、公費による同撤去の制度をつくり支援すべき。

環境局長 本市は、個人等の財産被災者の責任と判断で行うものと考えており、また、年間200件を超える本市の火災の中には住宅等の火災も含まれ、市場・商店街を対象とする公費撤去の制度の創設は公平性の観点からも難しいと考えている。引き続き、被災ごみの処理手数料免除や火災の規模に応じた丁寧な相談対応など、被災者に寄り添った支援をしていく。



公明党 松岡 裕一郎
物価高騰における事業者支援について
30分

議員 物流トラック、バス、タクシーなどの公共交通、フリーニングなどの事業者は、原油価格物価高騰により燃料コスト高が利益を上回り大打撃を受けている。同事業者に対する支援を強化するため、地方創生臨時交付金を活用すべき。

市長 本市では、燃料費等高騰により様々な業種に影響が出ているため、幅広い事業者が活用できる支援を考えており、市内事業者の経営体質強化に向け、DX・デジタル化の推進補助、省エネ設備導入補助などにより足腰の強い地域経済を構築していく。まずはこれらを着実に進め、引き続き事業者の声をきめ細かく聞き、今後の経済状況を注視しながら必要に応じ対応を検討する。



ハートフル北九州 森 結実子
男性用トイレのサンタリーボックスについて
30分

議員 加齢等により尿漏れ症状のある方が安心して外出できるよう、汚れた尿漏れ用吸水パッドを捨てられる場所が必要であるため、市が関係する施設の男性用トイレの個室にサンタリーボックスを設置してはどうか。

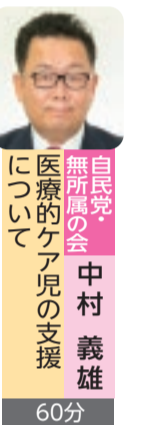
保健福祉局長 男性用トイレへの同設置が進んでおらず、外出先での同パッドの付け替えの際に処分に困るなどの声がある。既に一部の市民センター等の男性用トイレに行っている同設置は、身体的な事情等で外出に不安を抱える市民が安心して出かけられる環境づくりにつながると考えるため、まずは市民に身近な公共施設のうち、対応可能な施設から設置を検討していきたい。



公明党 本田 忠弘
PCB廃棄物処理事業について
30分

議員 本年4月、本市は同事業の2年間の継続に係る国の要請の受入条件に、同事業が地域の理解なくして進まないことを明確に打ち出し、若松区等の地域振興策への支援も盛り込んだ。同振興策の取組状況を尋ねる。

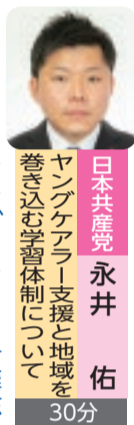
市長 本市は、同振興策として従来からの若戸大橋等の維持管理に加え、環境エネルギー産業の拠点である同区で優先的に市民センターへ太陽光発電設備を導入することなどを考えており、その他の振興策も今後、地域の意見を聞きながら検討していきたい。同事業継続に当たり、地元との理解と協力が大前提であるので、市民の思いに寄り添った同振興策の実現に取組んでいく。



自民党・無所属の会 中村 義雄
医療的ケア児の支援について
60分

議員 医療的ケア児法の施行により、行政は家族の離職の防止など、医療的ケア児や家族への支援が責務となった。同法の看護師等の配置に関する規定に基づき、通常の学級と特別支援学級にも看護師を配置すべき。

教育長 本市は昨年度、訪問看護ステーションからの看護師派遣を開始し、今年度は教育委員会内に医療的ケア学校コーディネーターを配置することで学校の支援体制を拡充してきた。他都市の状況を踏まえると、中学校への医療的ケア児の就学は今後、更に増える予想しており、看護師配置は必要となるため、本市でどのような方法が導入できるか早急に検討していきたい。



日本共産党 永井 佑
ヤングケアラー支援と地域を巻き込む学習体制について
30分

議員 ヤングケアラー支援では、本人やその家族たちが相談窓口へ自発的に相談に行けない状況をどう打開するかが重要であり、学校を巻き込んだ地域のネットワークで早期発見し、支援につなぐ流れをつくるべき。

市長等 ヤングケアラー支援は、多方面の人々による支援ネットワークの中で子どもを見守り、早期発見し、支援することが重要であるため、本市では小児科医師、教育委員会、民生委員・児童委員等と市関係部課長等が参加する要保護児童対策地域協議会の中でヤングケアラーへの連携した支援を行っている。今後、この体制の中で情報を共有し、十分対応していけると考えている。



ハートフル北九州 奥村 直樹
校則の見直しについて
30分

議員 「ブラック校則」が話題となり、本市も生徒会や地域等の意見を聞くなど、同見直しに取組んでいるが、他校と比較するため、また、新入生の不安を和らげるために校則をインターネットで公開してはどうか。

教育長 本市は国の通知に先駆け同見直しに取組んでおり、各学校は児童生徒等に対する校則の配付や説明、学校運営に参画する地域住民への情報共有等を実施しているが、校則をより広く公開することは望ましいため、同見直しに取組む中学校長会にホームページへの掲載を働きかけており、順次掲載の予定である。今後も、学校と連携し校則の適切な運用・見直しを行っていききたい。



自民党・無所属の会 大石 仁人
マスク着用に対する市の方針について
60分

議員 5月20日に発表された政府見解でマスクの不要な場面が示されたが、本市の施設等では一律に同着用が前提の取扱いになっているようである。市民を熱中症から守るためにも、同着用に関し周知徹底を図るべき。

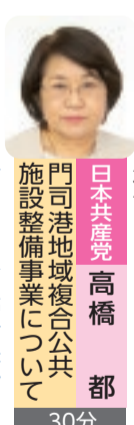
総務局長 本市は、従来から熱中症予防のためマスクを外す場面について周知してきたが、今回、新たに国が示したマスクの不要な具体例の広報や公共施設を管理する関係部署への周知を行った。公園での同着用をお願い看板は撤去を進めており、来園者の多い有料公園には国の啓発リーフ



公明党 金子 秀一
ふるさと北九州市応援寄附金について
30分

議員 同寄附金は寄附者が14項目の使い道を選択できるが、13番目の「動物愛護の推進」の項目で頂いた寄附金は、動物愛護のボランティア団体や獣医師会の方々が納得できるような活用をしてもらいたい。

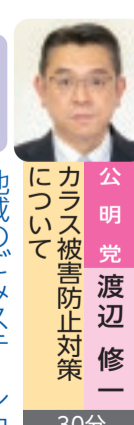
企画調整局長 本市は、不妊・去勢手術の助成やワクチン接種、譲渡会開催等の動物愛護推進に係る取組の財源の一部に同寄附金を活用している。また、同寄附金の活用状況を公開することは、寄附者への思いに応え、本市の応援者を増やすためにも重要と認識しているため、寄附者の希望と本市の取組状況を踏まえながら、他都市の事例等も参考にしつつ関係部局と共に検討していきたい。



日本共産党 高橋 都
門司港地域複合公共施設整備事業について
30分

議員 高潮浸水想定区域にあるJR九州の土地への区役所建設は、災害ハザードエリアにおける新規立地の抑制等の対策を講じることが課題として改正された都市再生特別措置法に抵触するため、強行すべきではない。

建築都市局長 同事業は、市民等の意見を伺い門司港駅周辺を進める方向となり、外部有識者会議等を経て現予定地での整備となった。検証後も同会議で現案が賛同され、パブリックコメントで頂いた意見は実施設計でできる限り反映していく。防災機能を高めるための対策は基本設計等の中でも講じており、同法改正の趣旨にも沿うため、今後も市民の安全を守る施設になるよう進めていく。



公明党 渡辺 修一
カラス被害防止対策について
30分

議員 地域のごみステーションでは市民がカラス被害と奮闘しているが、早期解決のために新たな防鳥ネットの試作品が出来上がり、実証実験が実施されたと聞く。同実験の結果と評価について見解を伺う。

環境局長 既存の同ネットを袋状連合会の協力により市内5か所で行った実証では、全て同ステーションでごみの散乱が改善され、自治会から今後も使用したいとの意見が出たが、使用時にネット開口部を広げる手間があるなどの注意点も確認できた。同ネットは効果があったためSNS等で周知し、今後も同連合会と連携して美しいまちづくりを進めていきたい。

請願・陳情の審議結果
市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。
令和4年6月定例会では、陳情2件が不採択、このほか請願7件、陳情82件が継続審査となりました。



自民党 無所属の会 宮崎 吉輝
北九州ハイツの今後について
30分

議員 閉館から2年以上が経過した同施設のあり方について、同施設をめぐり、今後の方針と、同施設を含む場池公園の魅力ある将来像の検討について、Park・PFIの導入等を含め見解を尋ねる。

市長等 同施設については、公行計画の方針に沿い、民間事業者10社と意見交換した結果、現在の建物を購入しての活用は困難との意見があり、購入希望等もなかったため、建物解体する方向で検討したい。同公園の将来像については、民間事業者による事業化の可能性があれば同制度の導入等を含め、地域のまちづくりの視点を踏まえて検討していきたい。



ハートフル北九州 白石 一裕
人的資本への投資について
30分

議員 企業では社員をコストではなく資本として捉え、人材に対する投資を積極的に進めている。本市も高度なスキルを身につけた職員に対して、大胆な登用とそれに見合う給与面等での処遇を進めてはどうか。

市長 本市は本年3月、人材育成基本方針を改定し、職員育成の総合的な取組として、能力本位の大胆な登用も見える管理職の昇任要件の見直しや、早期に上位の職へ挑戦できる係長昇任試験受験資格の変更、人事評価の結果に応じた昇給等を行っている。引き続き、市の将来を担う人材の確保等と、能力を存分に発揮できる環境づくりに向け、民間等の動向も注視し研究を続けていく。



公明党 渡辺 徹
特別支援教室について
30分

議員 本市では、担当教員による巡回型の通級指導である特別支援教室の小学校への導入を、令和元年度から小倉北区でモデル的に行い、昨年度から全区で実施したが、中学校における同教室の拡充について尋ねる。

教育長 同教室は、児童生徒や保護者と担当教員の双方にメリットがあるため、中学校では令和元年度に1校、翌年度に2校をモデル校に指定している。一方、従来型の他校での通級は、授業や部活を抜けることへの抵抗感などから申込みが少ないため、生徒の多様な教育的ニーズへの対応に向け中学校にも、できれば来年度から同教室を導入できるように準備に着手していきたい。



6月20日 一般質疑
村上さとこ
副市長の選任について
30分

議員 市長の1期目の公約である女性副市長の登用が実現したのは2年間のみだが、SDGsの時代にいかがなものか。この15年間で女性の人材が育っているが、今回の同選任に当たり女性登用の考えはなかったのか。

市長 政策決定レベルに女性の視点が必要だと日々考えている。教育長や局長等への登用等、重要施策を担う女性職員の育成に努めた結果、第一線で女性幹部職員が活躍しており、女性副市長誕生の可能性が大いに高まっていると感じる。同選任は女性の登用を念頭に置きつつ、最も

本会議等を生中継しています。
本会議等の模様をケーブルテレビ(11チャンネル)とインターネットで生中継しています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも視聴することができます。また、インターネットでは、過去1年分の録画放送が視聴できます。
※インターネット中継は、「北九州市議会のホームページ」からご覧いただけます。
【問い合わせ先】 ☎582-2622 FAX 582-2685

市議会の虚礼廃止へのご理解を!
公職選挙法では、次のことが禁止されています。
●議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
●議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
●議員や後援会がお中元やお歳暮などをする事。
●議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
●市民や団体が議員に寄附などを求めること。
このほか北九州市議会では、**祝電や弔電の自粛**を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

ふさわしい人材を人物本位で幅広い分野から行ってきたため、引き続きこの考えの下、取組んでいく。

令和4年6月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧 詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000984631.pdf>

種別	件名	議決結果	自民・無	公明党	ハート	共産党	自民の会	維新の会	変革	井上	村上	若松
市長が提出した議案	市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	手数料条例の一部改正/市税条例の一部改正/建築物における駐車施設の付置及び管理に関する条例の一部改正/いじめ問題専門委員会条例の一部改正/市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正/新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金基金条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市公園、公園、駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
	小池特別支援学校改築工事(第2期)請負契約締結/市道路線の認定、変更及び廃止/鹿児島本線戸畑・枝光間及び鹿児島貨物線浜小倉・黒崎間汐井町牧山海岸線架道橋新設工事委託協定の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	建物等の取得	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算の専決処分の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算(第2号)/特別会計補正予算(土地取得(第1号))	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議員が提出した議案	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	副市長の選任	同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	地方財政の充実・強化に関する意見書/環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の更なる推進を求める意見書/医療・介護関係職種の国家試験における新型コロナウイルス感染症流行等に対応した追試験の実施を求める意見書/带状疱疹の予防に関する啓発とワクチン接種の助成制度の創設を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	船舶免許の厳格化と海上交通の安全確保を求める意見書/児童生徒用送迎バス等の安全基準制定を求める意見書/不発弾等の処理に係る費用を国負担とすることを求める意見書	否決	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○
	パチンコ、パチスロ等をギャンブルに位置付け、ギャンブル等依存症防止のための適切な対策を促進させることを求める意見書	否決	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○
	物価高騰から生活を守るため、消費税率5パーセントへの緊急減税を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×
決議	憲法9条を生かした外交で平和づくりを求める意見書/「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」の実現を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×
	高度生殖補助医療に対する支援の継続を求める意見書	否決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	被災した商店街の復興への取組に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本市の市場・商店街の災害復興支援に関する決議	否決	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×
	市長及び市議会議員の同時選挙実現に向けた市議会解散に関する決議	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
市議会議員の定数及び報酬削減に関する決議	否決	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 自民の会：自民の会
維新の会：日本維新の会 変革：変革と成長 井上：井上しんご 村上：村上さとこ 若松：若松を愛する会